

地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

卒 蔵之元小で森林教室が開催 業記念に花鉢ケースを製作

鹿児島県北薩地域振興局が実施する森林教室が2月6日、蔵之元小学校（星野勤校長）で開催され、同校の5・6年生16人が授業を受けました。

この日は、同振興局の職員と北薩森林組合から講師3人が訪れ、木が大きくなる仕組みや吸収する二酸化炭素量、森林の役割などについて説明を行いました。

その後、2人1組になり、間伐材から作られた木を使って、卒業記念として花鉢を入れるケース作りの実習体験が行われました。長さの違う材料を組み合わせて釘で止めていく作業は、材料が丸いことから釘が曲がるなど悪戦苦闘。なんとか、約1時間かけて作り上げました。

6年の長峯啓志郎くんは「作り上げていく作業は楽しいけど、釘がうまく打てず難しい」と苦笑いしていました。



材料が丸いことから釘打ちに悪戦苦闘する児童↑

緑 アオサの収穫が最盛期 のじゅうたん!? 旬の味

2月に入り、八代海沿岸で養殖されるアオサの収穫が最盛期を迎えています。

白瀬集落沿岸で養殖する赤崎昭生さんは2月7日、午前8時から潮の引き加減を見ながら総勢5人での収穫作業を開始。海面に張ってある網には鮮やかな緑色をしたアオサがびっしりとついていた。作業は、「胴長靴」と呼ばれる防水着を身にまとい、昭生さんら3人は海に入り、杭に結んであるロープを外していました。一方、息子の昭吾さんら2人は、船上に積まれた摘取機でその網を巻き上げ、アオサは下に準備された容器に次々と振るい落とされていました。

昭生さんは「今年は良い生育となった。特にこの時期のアオサは風味があって最高。県内外の皆さんにPRして消費拡大に努めていきたい」と自慢のアオサに満足の様子でした。



↑網にびっしり付いたアオサを、船上の摘取機で収穫



←白瀬集落沖にあるアオサの網

あんなこと、こんなこと、
耳より情報